



Title	<翻訳>Д. ナツァグドルジ「ヒュルヒュル風」
Author(s)	Д. ナツァグドルジ; 織田, 幸彦
Citation	モンゴル研究. 2025, 34, p. 44-44
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/103474">https://doi.org/10.18910/103474</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

《翻訳》

ヒュルヒュル風

Д.ナツアグドルジ  
(訳) 織田 幸彦

ヒュルヒュル風、まだ吹いている

ポツポツ雨、まだ降り止まぬ

さやさやと風、まだ吹いている

ポツポツ雨、まだ降り止まぬ

山越えの風が北から

兆しの風は南から

夕霧の冷たい風が上から

跳ね返りの冷たい風は下から

原題 Сэр сэр салхи (Д.Нацагдорж) 1923年

本誌第4号掲載の拙訳「希望」は春到来の歓びでしたが、その対になるような冬の始まりの歌です。

本作は歌劇のテーマ曲ですが、作者は別の人という学説もあります。革命前夜の苦難を隠しているとも言われています。いずれにせよ動画サイトで20以上の動画が検索されるのは、未だ流行歌として愛されている証しですね。なお第一連の、擬態語「ヒュルヒュル」と「さやさや」については、映画プロデューサー・ヒシゲー (С. Батхишиг) 氏の助言をいただきました。

(おだ さちひこ)